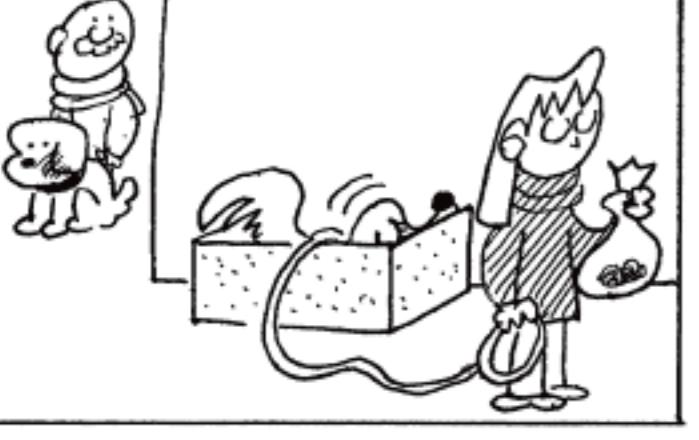
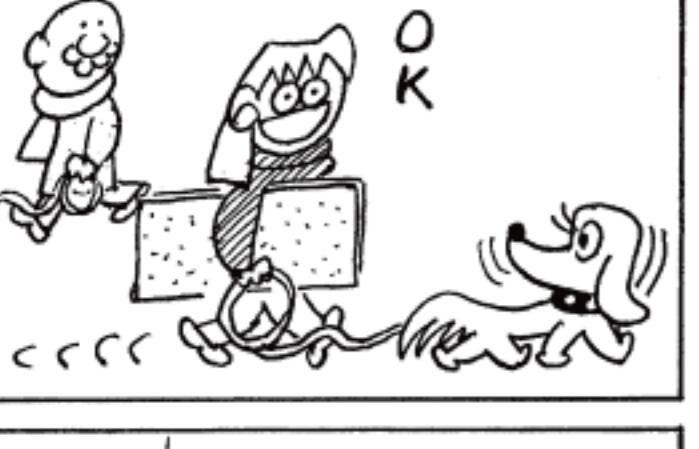
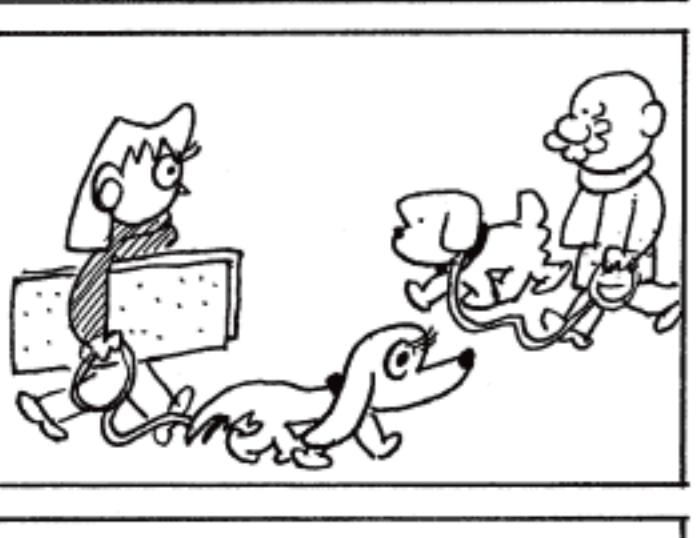






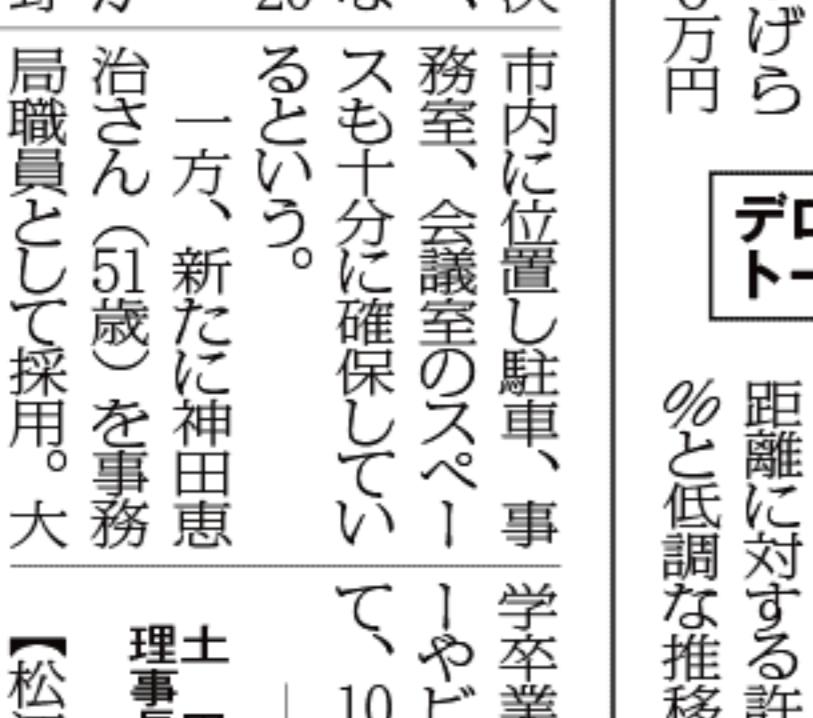
寄付を渡す前原理事(右)



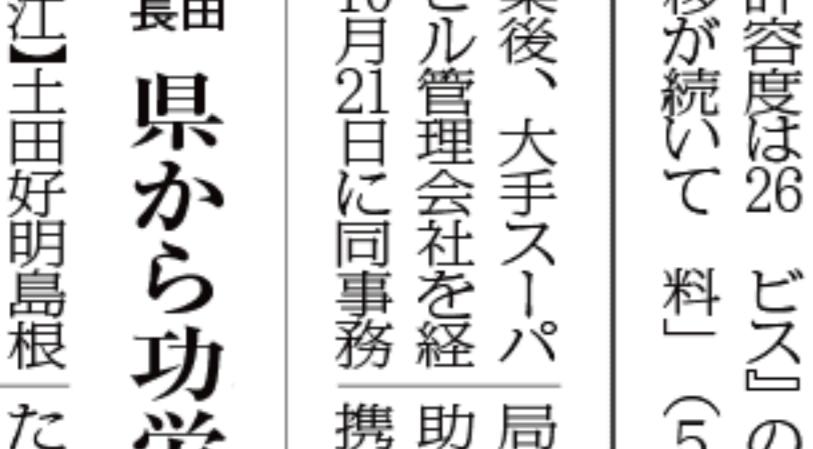
世界の三大ガソリン計量機メーカー  
**TATSUNO**



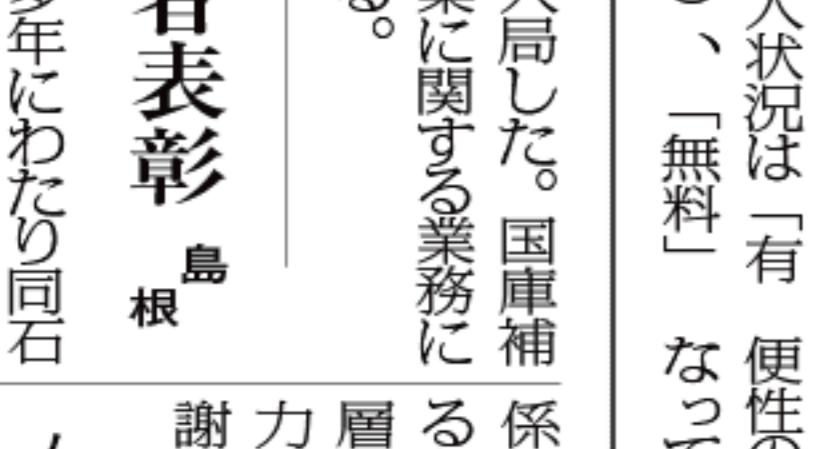
島根県各種功労者表彰式



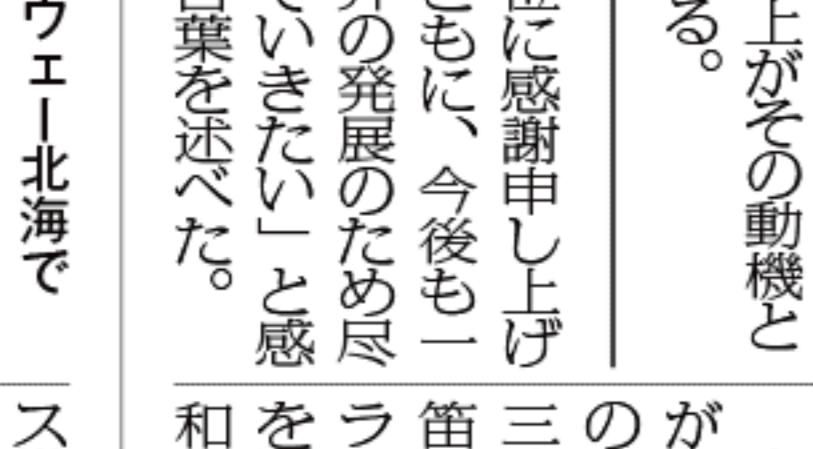
島根県各種功労者表彰式



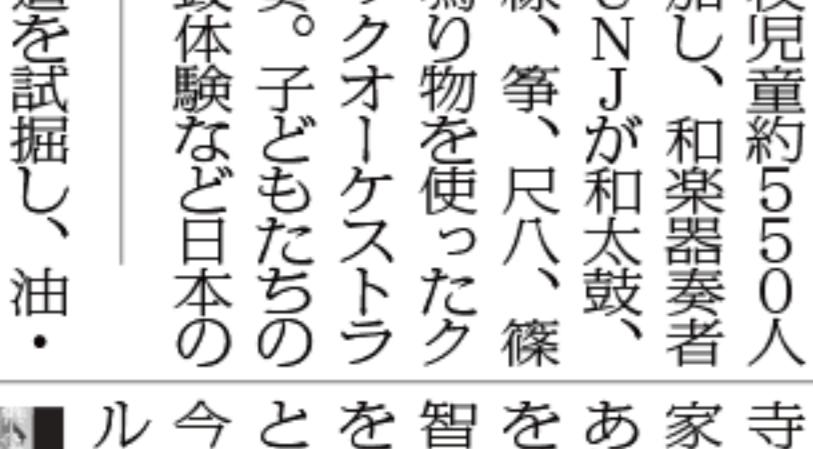
島根県各種功労者表彰式



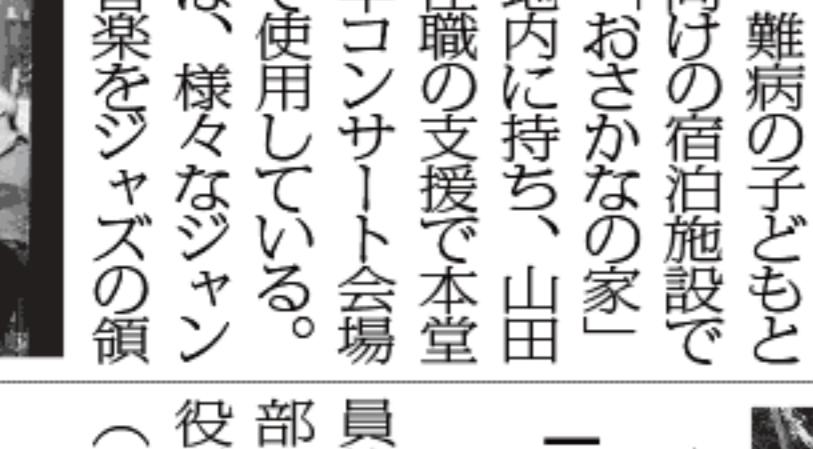
島根県各種功労者表彰式



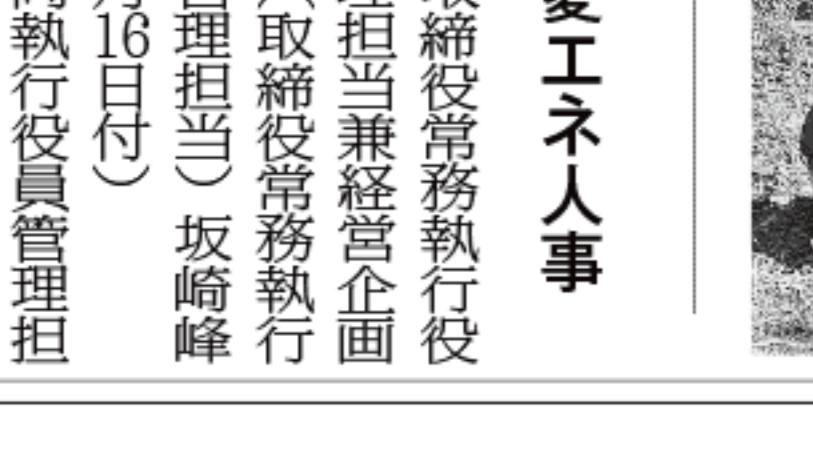
島根県各種功労者表彰式



島根県各種功労者表彰式



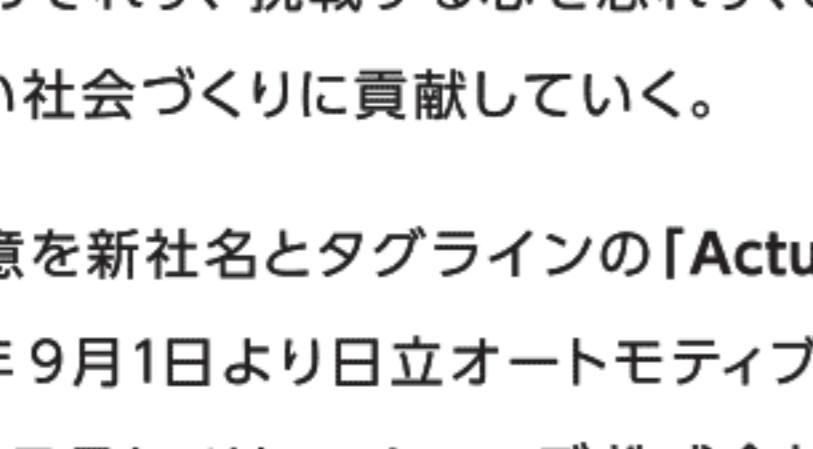
島根県各種功労者表彰式



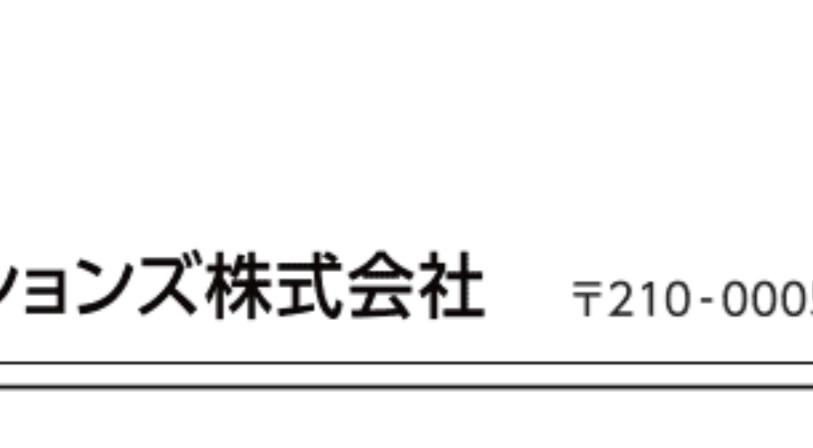
島根県各種功労者表彰式



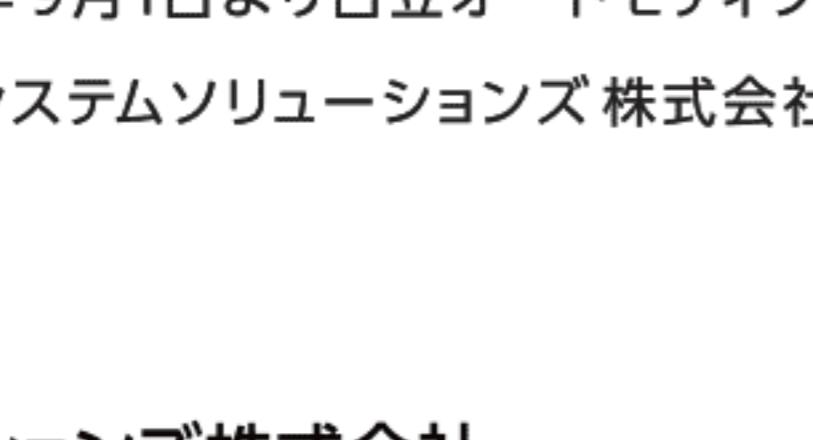
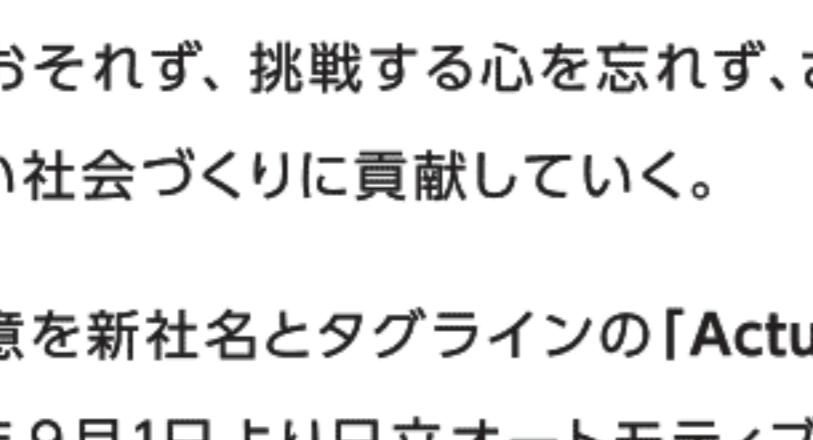
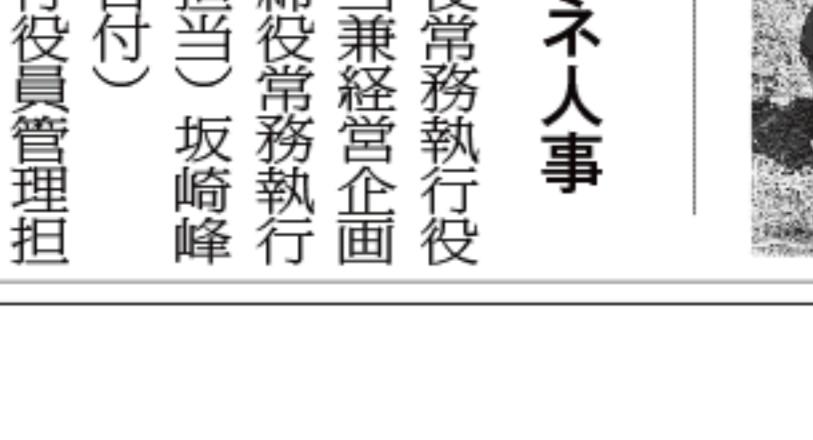
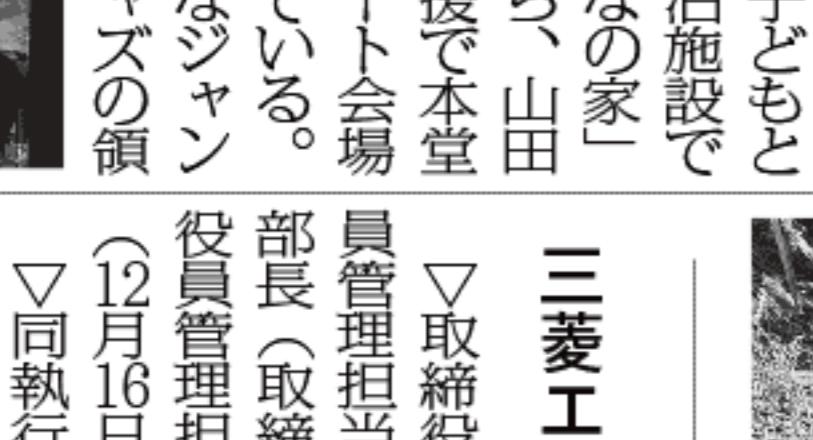
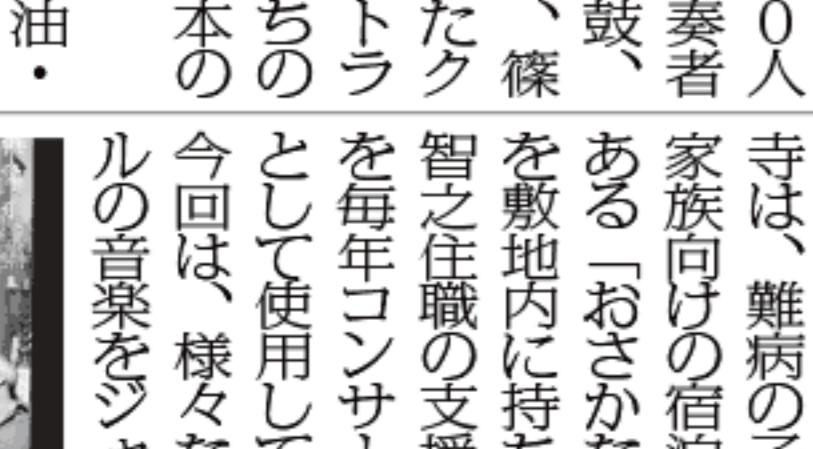
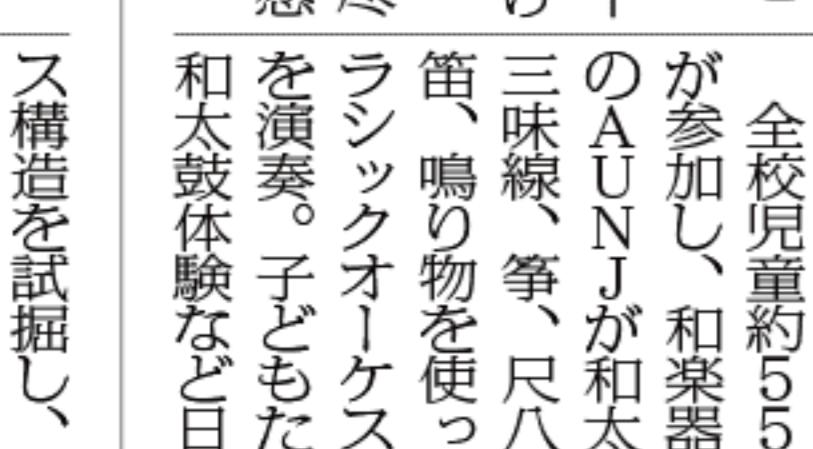
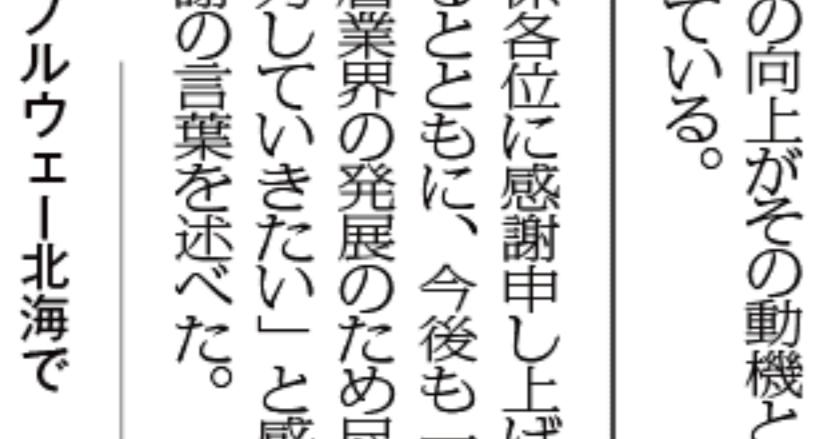
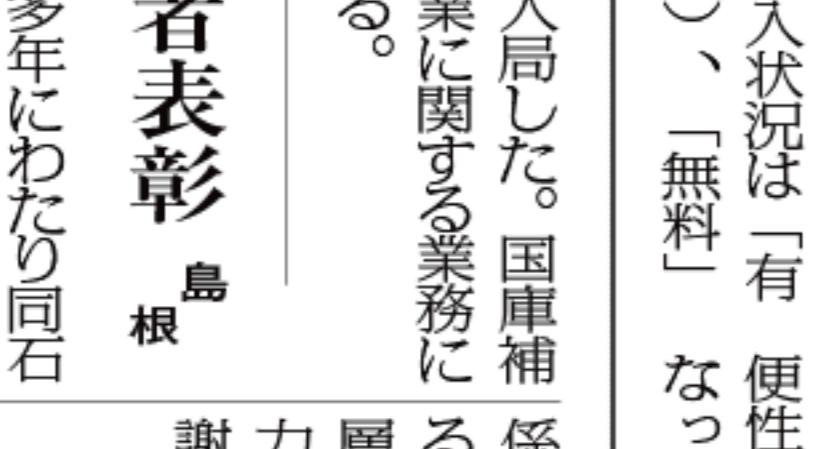
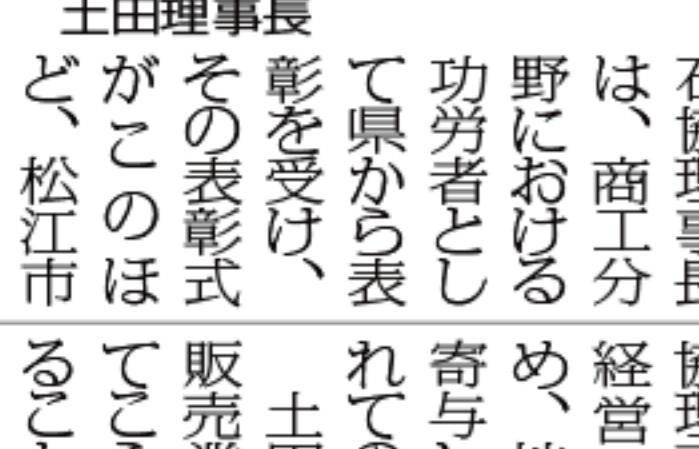
島根県各種功労者表彰式



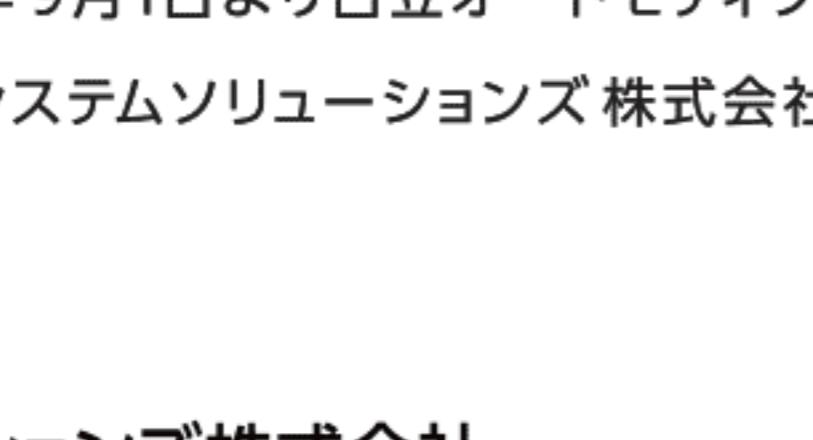
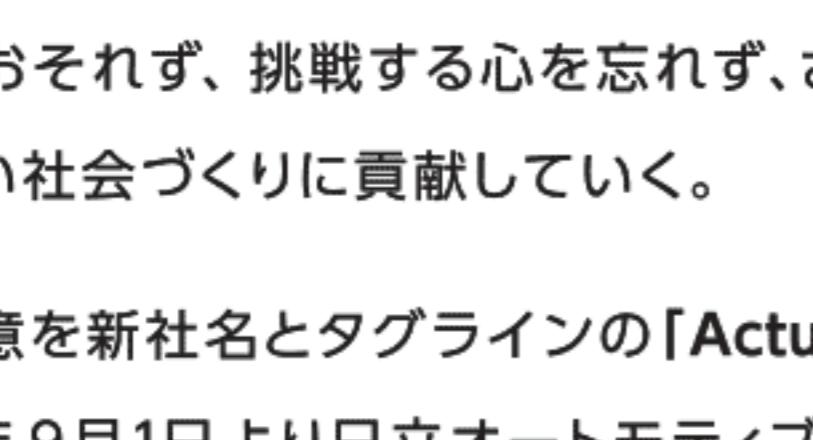
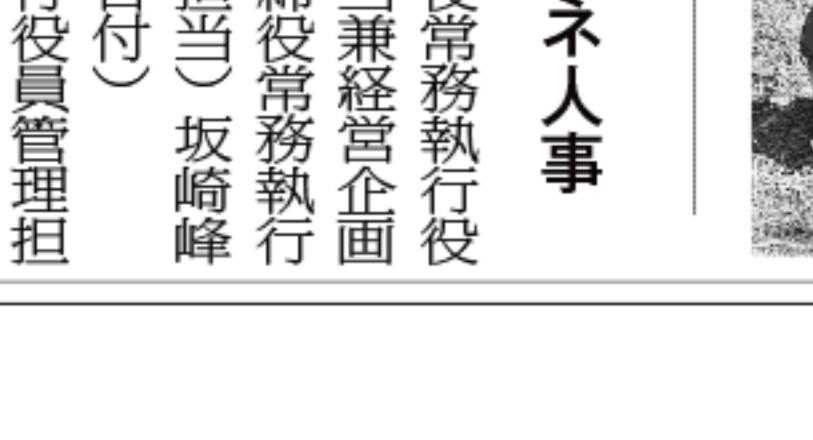
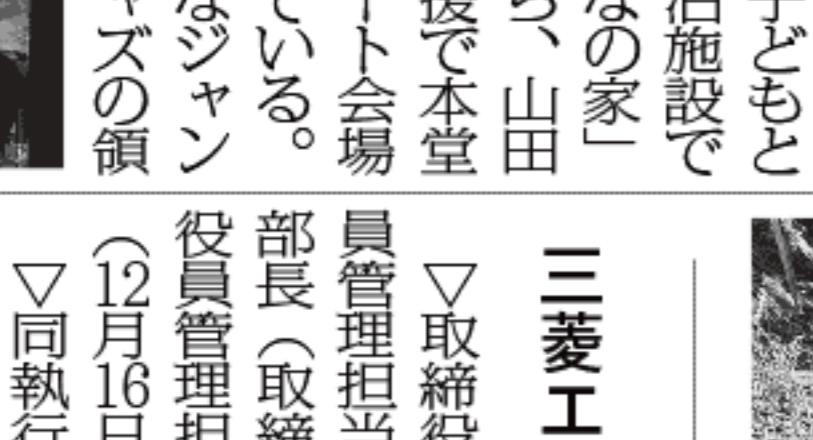
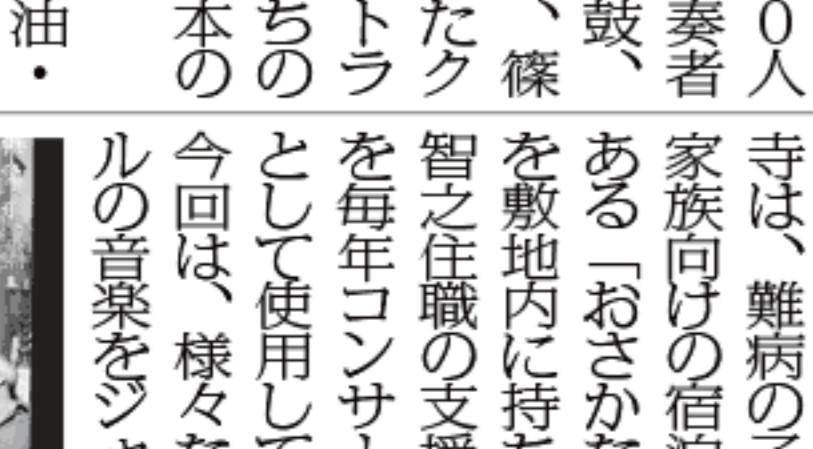
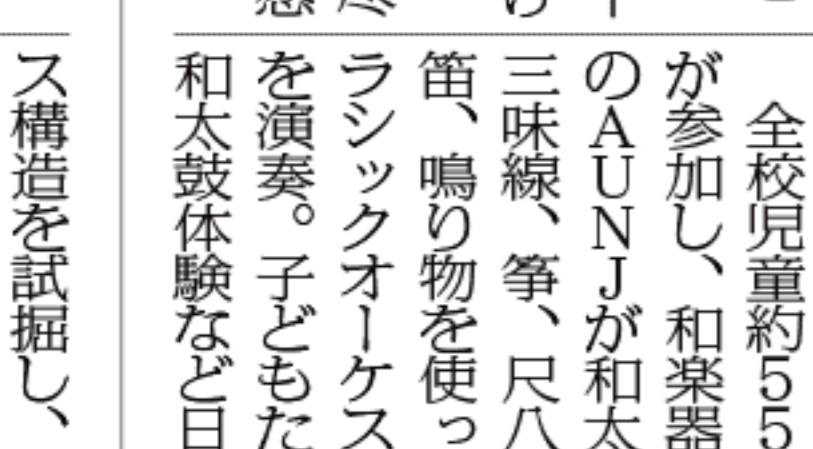
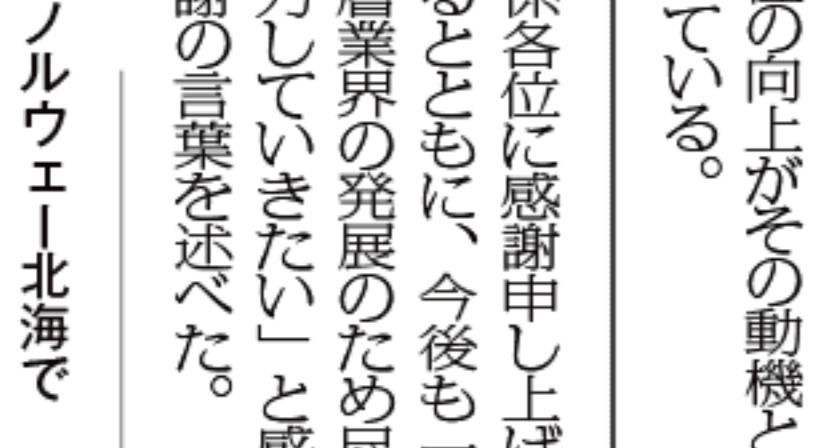
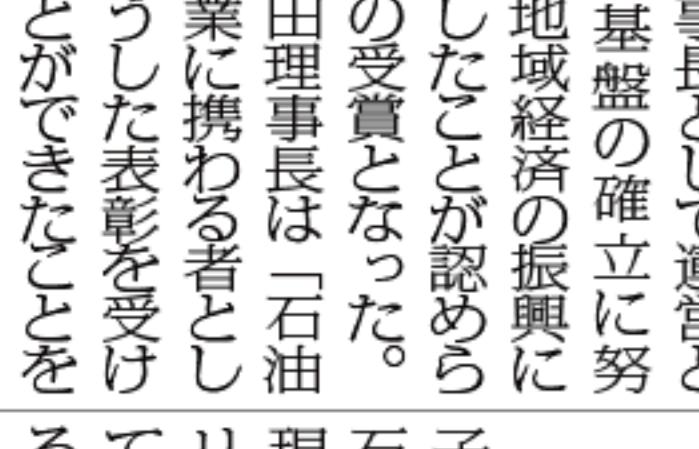
島根県各種功労者表彰式



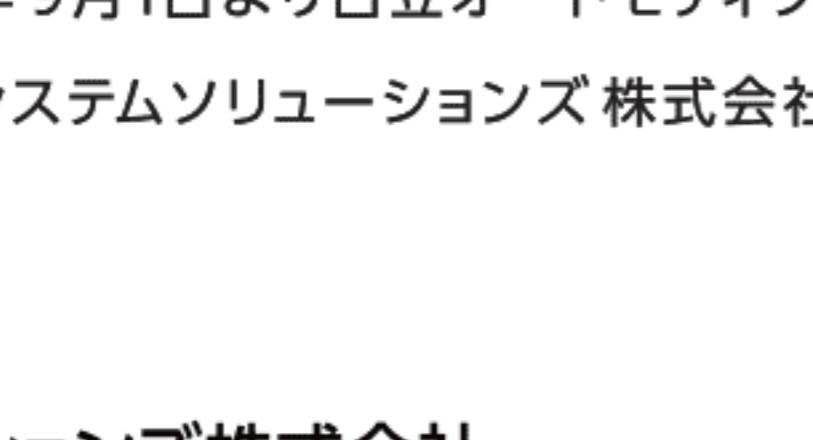
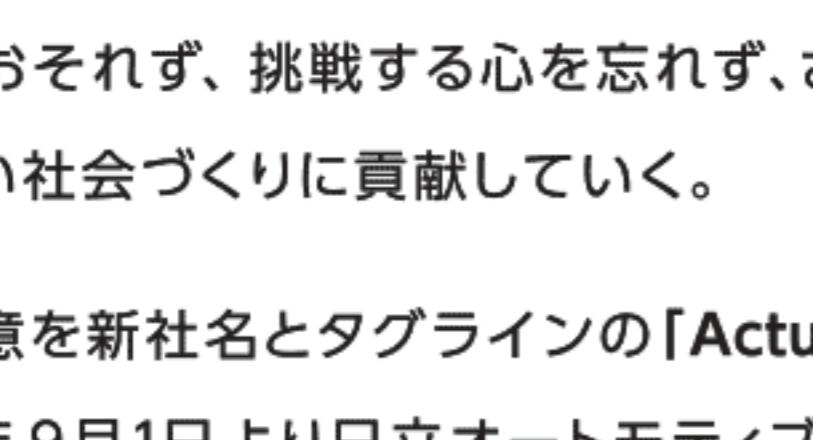
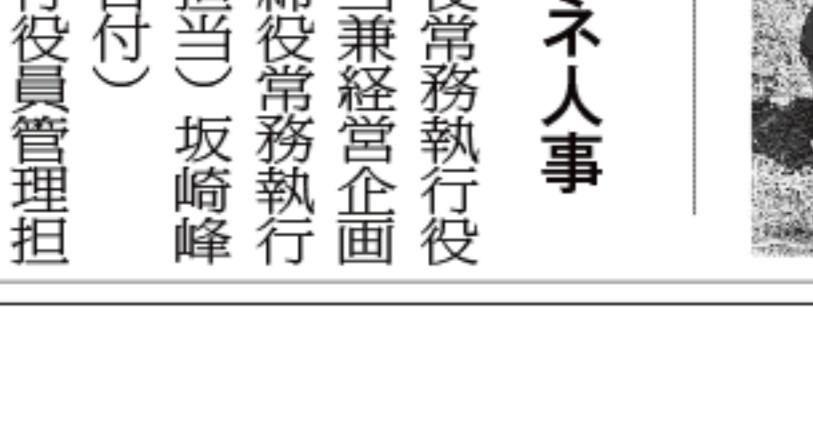
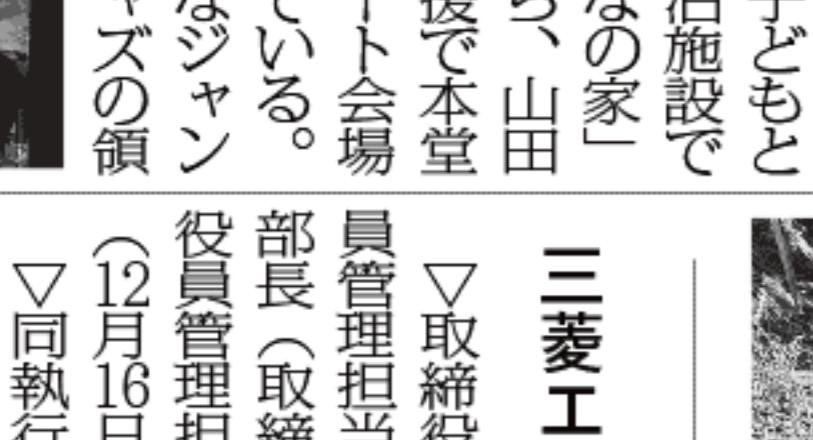
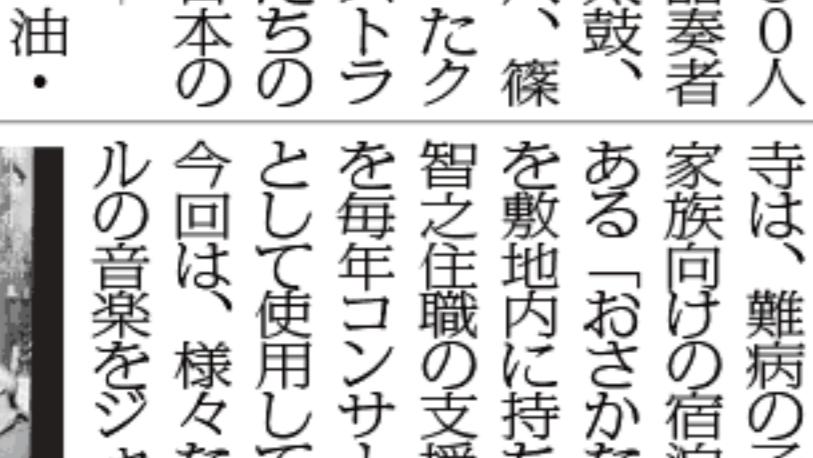
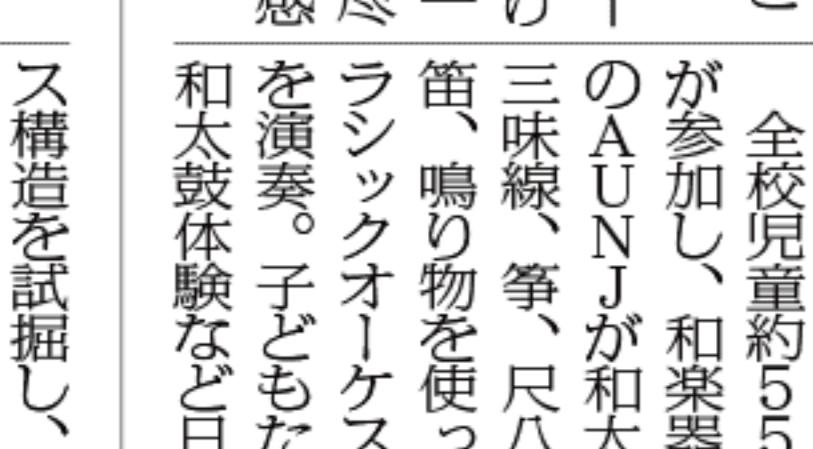
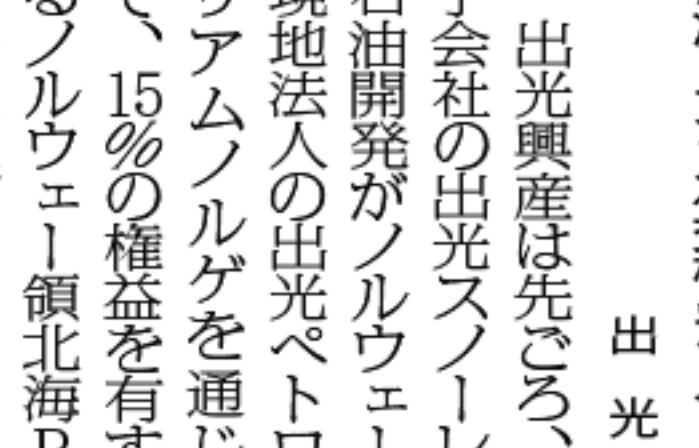
島根県各種功労者表彰式



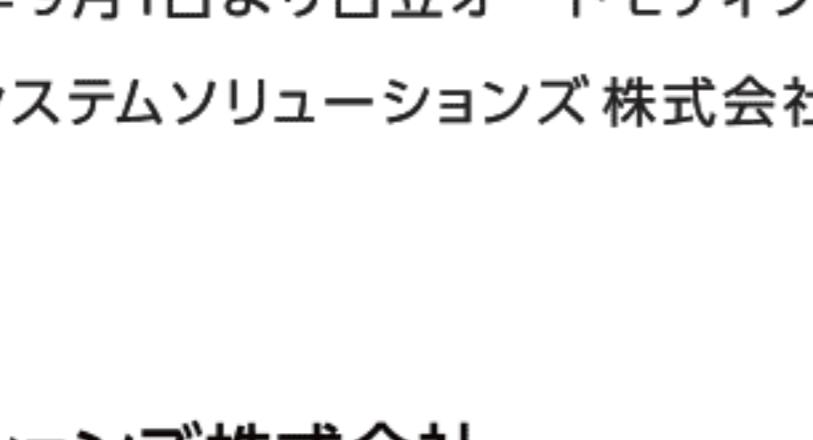
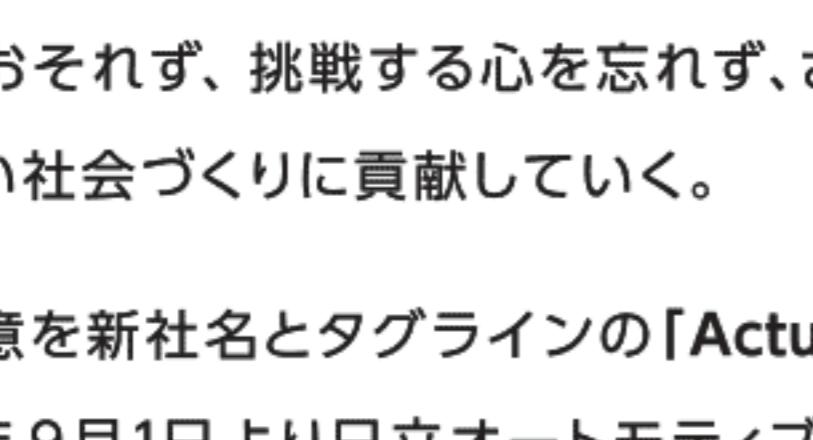
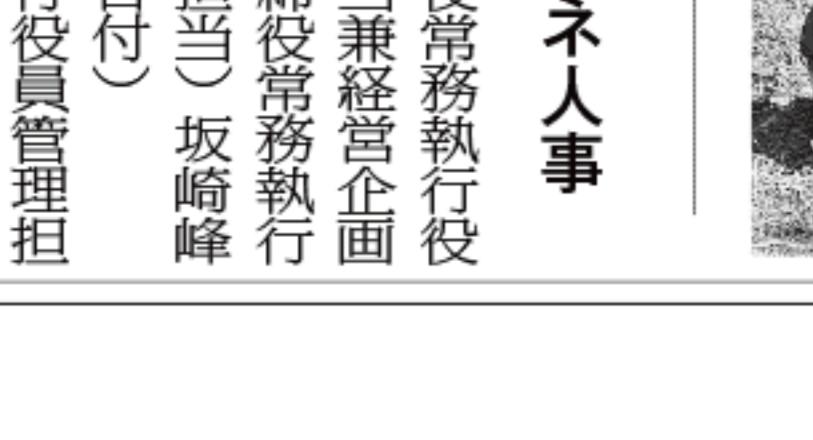
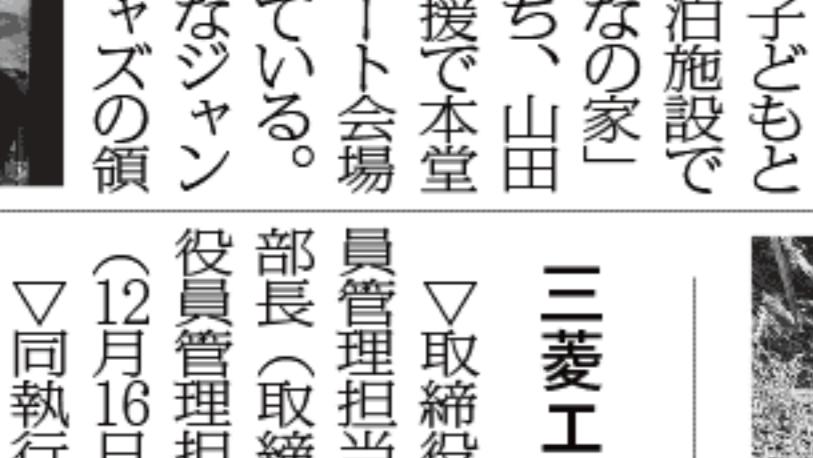
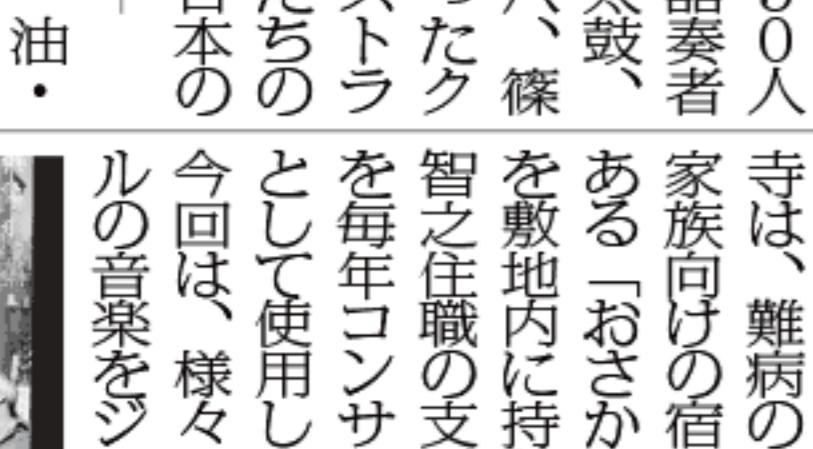
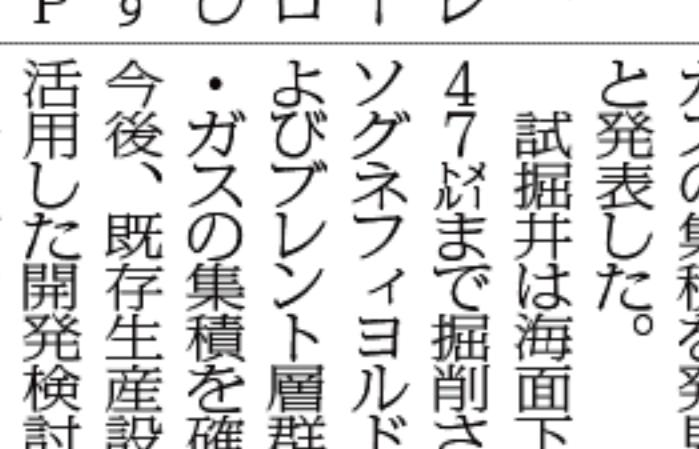
島根県各種功労者表彰式



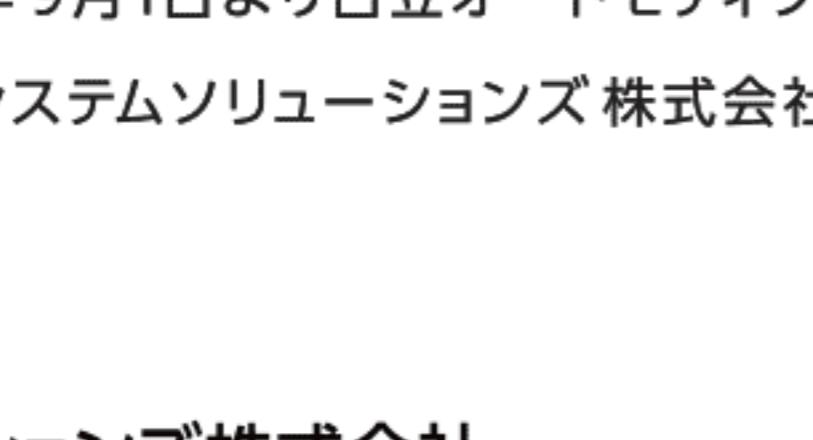
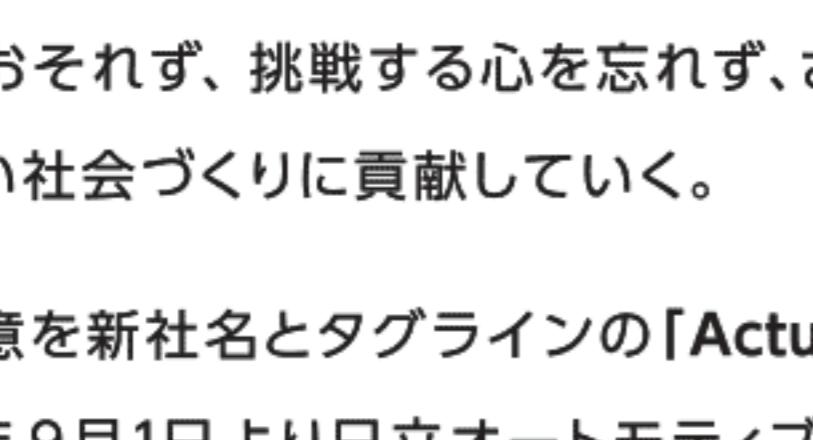
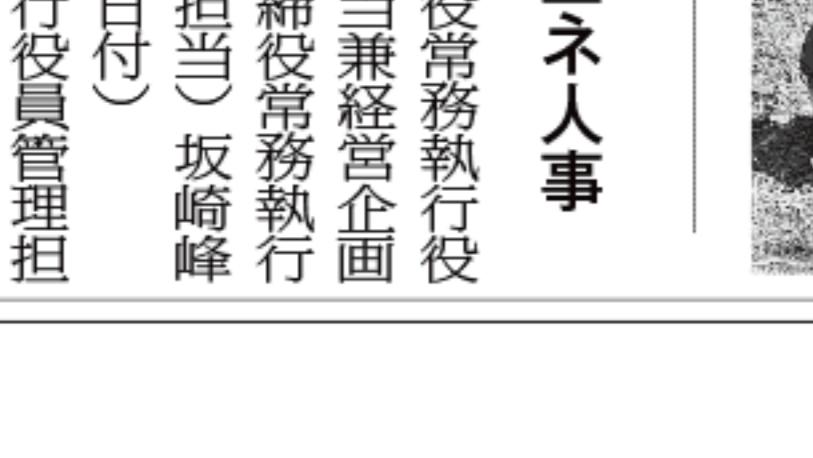
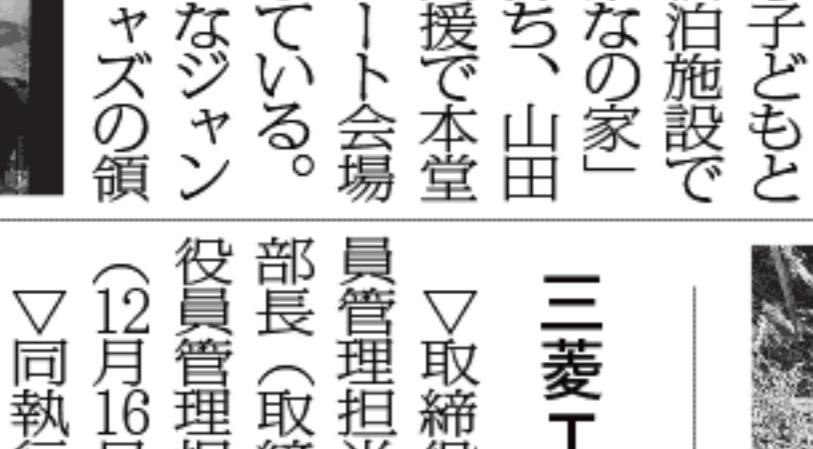
島根県各種功労者表彰式



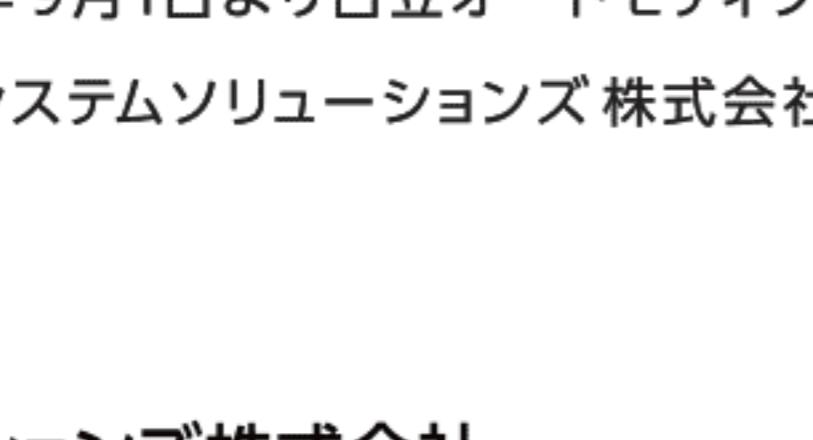
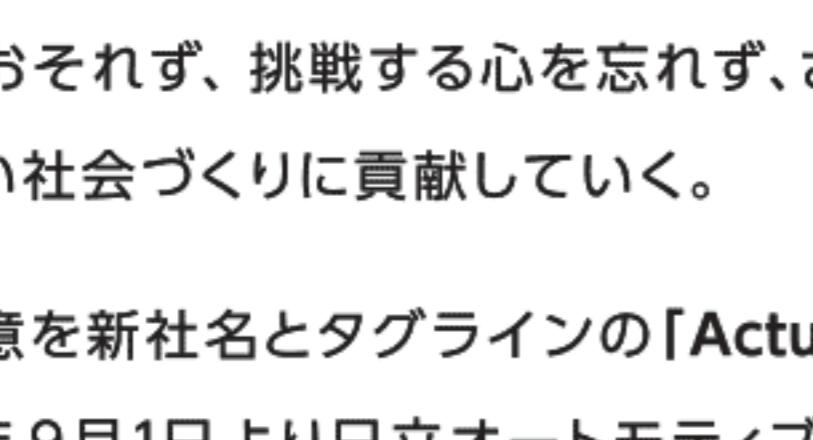
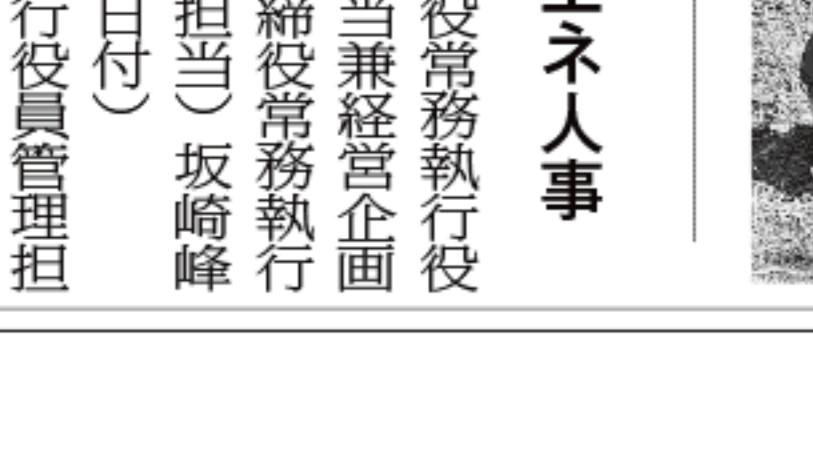
島根県各種功労者表彰式



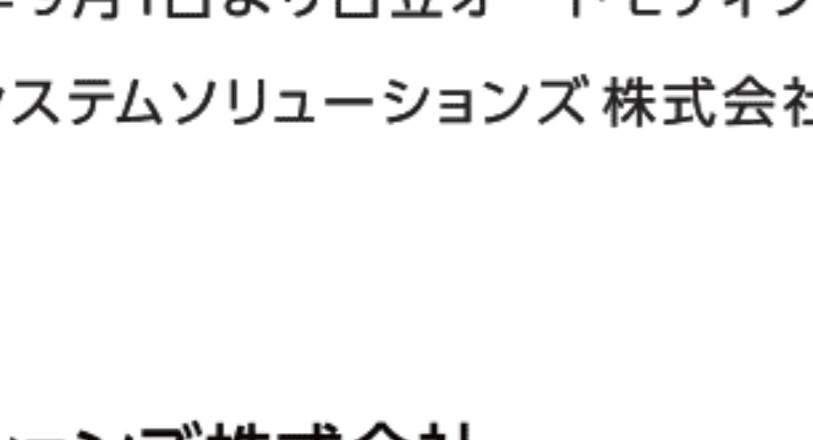
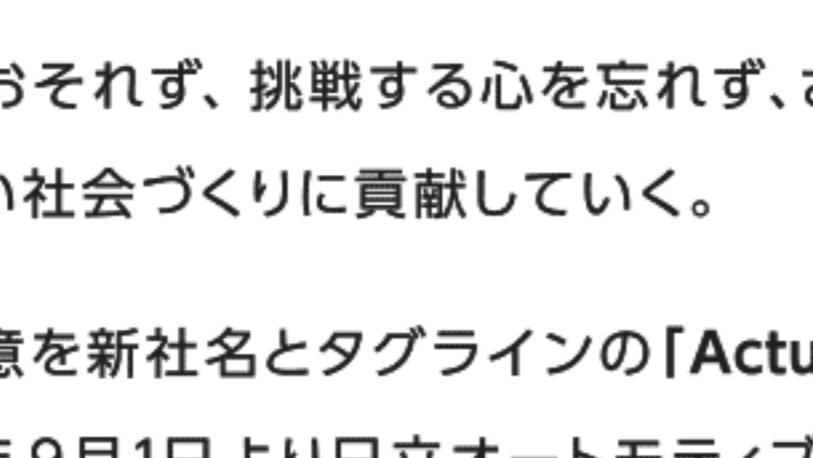
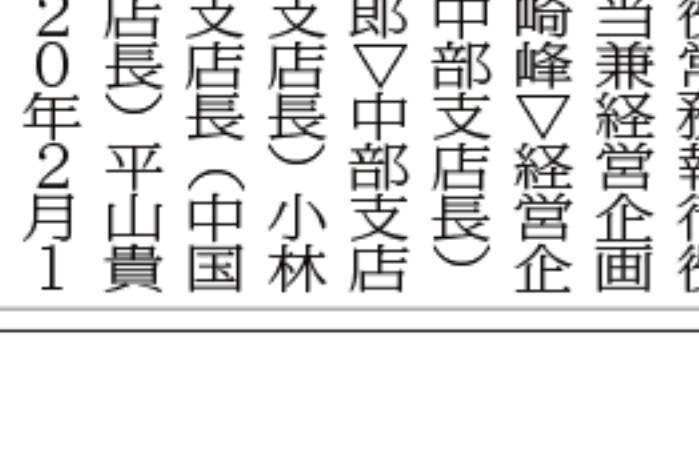
島根県各種功労者表彰式



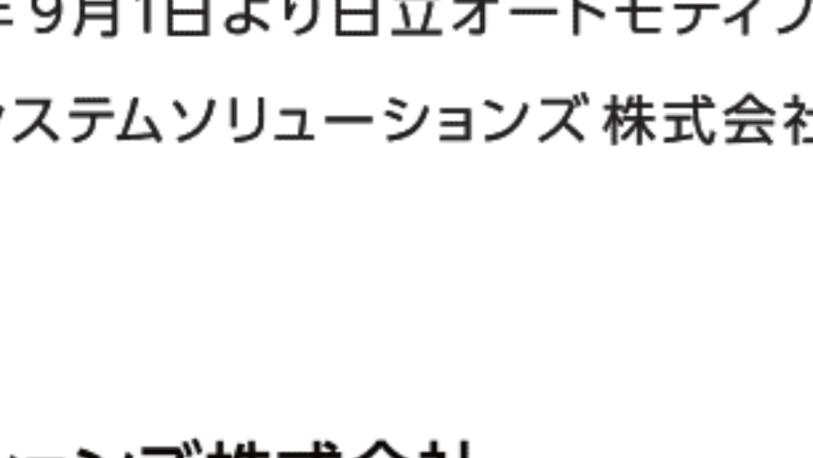
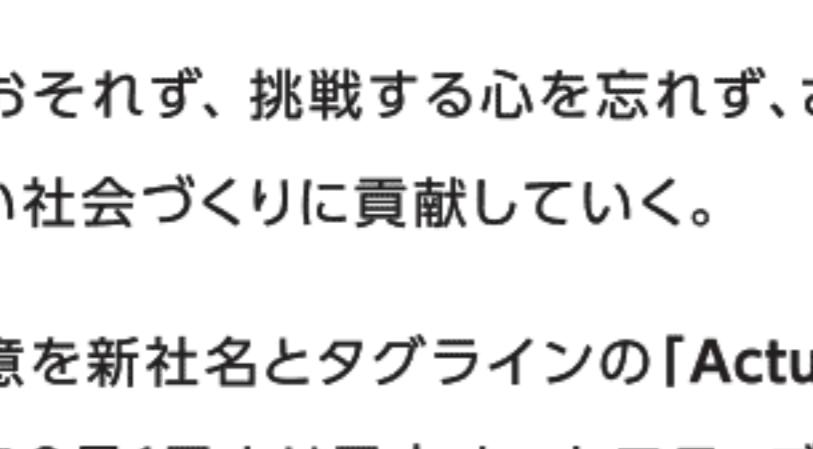
島根県各種功労者表彰式



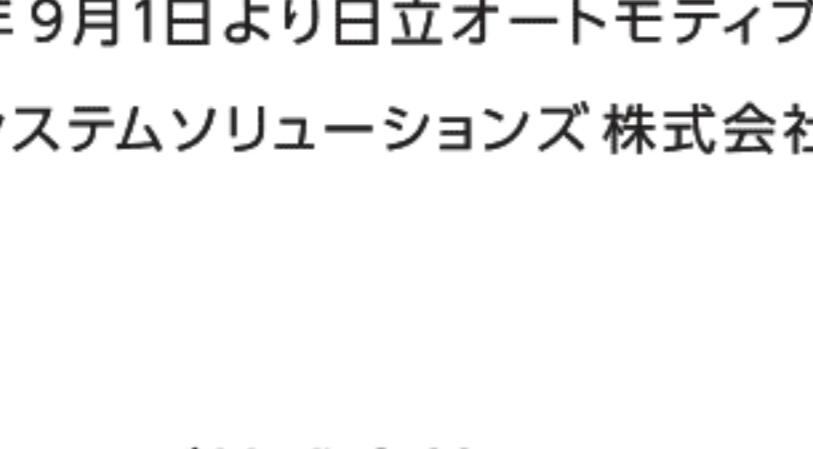
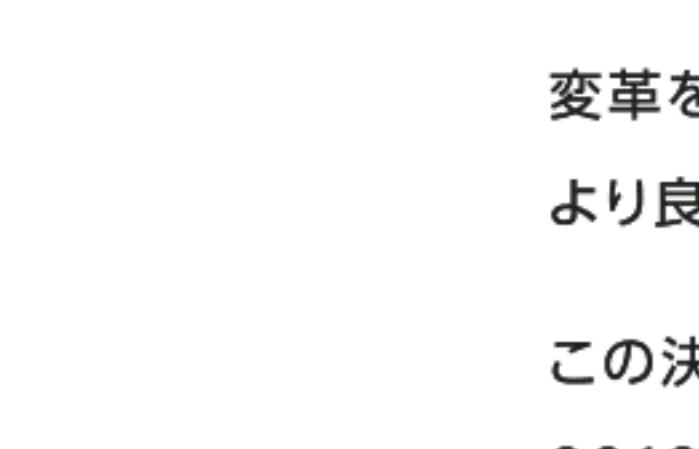
島根県各種功労者表彰式



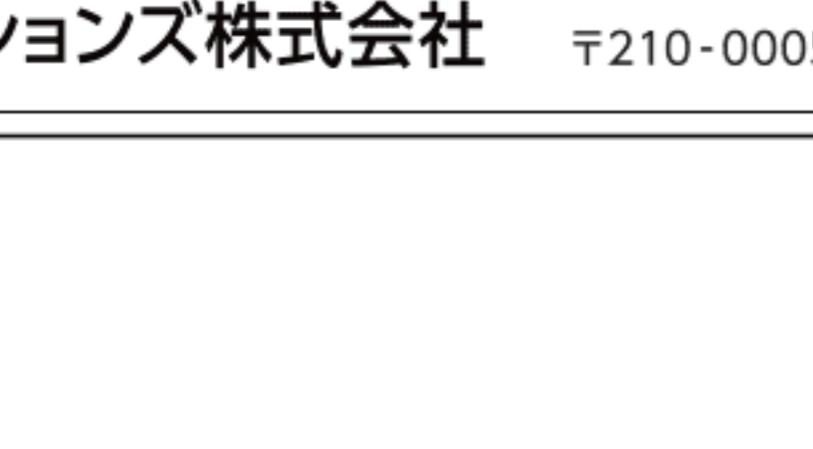
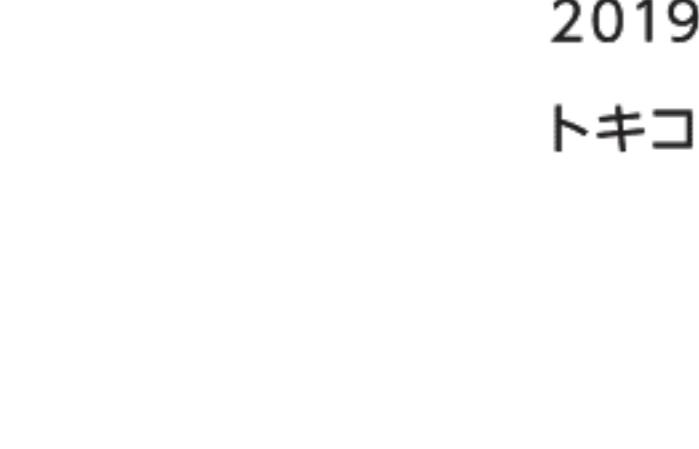
島根県各種功労者表彰式



島根県各種功労者表彰式



島根県各種功労者表彰式



島根県各種功労者表彰式



島根県各種功労者表彰式





「第46回東京モーターショー2019」  
東京ビッグサイトで開催レクサス「LF-30 Electrified」はインホイール  
モーターを採用したEVコンセプトカースバル「レヴォーグ プロトタイプ」、新開発  
1.8リッター水平対向直噴ターボエンジン搭載メルセデス・ベンツ「GLC F-CELL」は  
プラグイン充電も可能なFCVトヨタ「e-Palette」(東京2020オリンピック  
・パラリンピック仕様)は自動運転EV日産「インテリジェント モビリティ」  
軽自動車規格のEV

スズキのパーソナルコンパクトPHV「WAKU WAKU」



スマートのEV「smart EQ fortwo」

トヨタFCV「MIRAI Concept」、市販モデルは  
2020年末から発売予定

## 新生モーターショーに130万人超

来場人数130万人超え、前回の77万人を大きく上回り大盛況だった東京モーターショー。お台場エリアをうまく活用してモーターショー目当てではない観光客にもクルマに触れる機会を創出した。テレビCMでトヨタ・豊田章男社長が「東京ヒューマンショー」と言っていたように、モビリティによる便利さや楽しさなどの世界観を伝える展示が多く見られ

た。一方で出展した海外ブランドはルノー、ベンツ、スマート、アルピナの4ブランドのみ。4月開催のオート上海にはほとんどの欧米ブランドが参加していた。自動車メーカーの重点市場が完全に変わってしまったようだ。ホンダ、マツダは初の市販EVを披露したが、日本向けではなく欧州仕様。国内メーカーの目も海外に向けられているようだ。



NEW Renault LUTECIA

ルノーの新型「ルーテシア」

ホンダのFCV「クラリティ FUEL CELL」と  
「スマート水素ステーション」

マツダ初のEV「MX-30」は欧州仕様



ダイハツ「ICO ICO」地域の移動用次世代モビリティ



アルピナはBMW ALPINA「B3 Limousine」を世界初公開

来年欧州で市販予定のホンダ初小型EV「ホンダe」は  
サイドカメラミラーシステムを採用三菱「MI-TECH CONCEPT」は新PHVシステム  
・電動4WDシステムを搭載出光興産は、実証実験中の超小型EVとソーラー  
パネル付非接触充電システムを展示NTTドコモは5G(第5世代移動通信システム)を  
使った遠隔自動運転を実演

## 国内初! 大気環境配慮型SS(e-AS)認定制度の 「Sランク」になりました!



Sランク: SS全体のガソリンペーパー回収率95%以上

「e-AS」とは、環境省がガソリンペーパーを回収する計量機を設置しているSSを、回収率に応じた4ランクで認定する制度です。

タツノはこれからも、お客様の“安全・安心・快適”を支え、  
環境負荷の低減に貢献する製品開発に、努力を重ねてまいります。



SUNNY-NX Eco Stage D100R

TOWER-NX Eco Stage D100R

ペーパー液化回収機能付計量機 エコステージDシリーズ